

# コニカミノルタの事業概要と支える技術

## 1. 事業領域と概要

コニカミノルタは、お客様の期待を超えるソリューションを提供するための、私たちの姿勢であり、お客様に対する私たちの約束である「Giving Shape to Ideas」に込められた願いのもと、世界中の人々から寄せられる想いを、アイデアの力と独自の技術でカタチにしている。事業領域は、情報機器事業、ヘルスケア事業、産業用材料・機器事業の3領域からなる。これら事業を支えるのは、材料・光学・精密加工・画像の4分野にわたる12のコア技術である。下記にまず事業概要を紹介し、次頁でこれらの事業を支えるコア技術を紹介する。

### 《事業領域紹介》

#### ● 情報機器事業

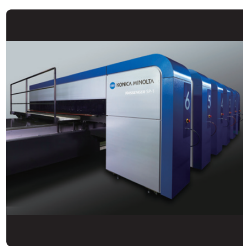
オフィスサービス/商業・産業印刷  
複合機 (MFP) を扱うオフィス分野と、商業印刷や企業内印刷で展開するプロダクションプリント分野、産業用インクジェット分野で構成されています。



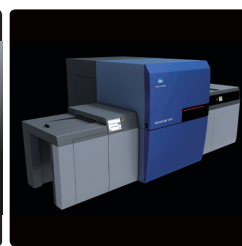
A3カラー複合機  
bizhub C368



デジタル印刷システム  
AccurioPress C6100



テキスタイルプリンター  
Nassenger SP-1



B2枚葉インクジェット印刷システム  
AccurioJet KM-1

#### ● ヘルスケア事業

X線画像診断分野に加え、形態/機能診断が可能な超音波診断分野、医療業務効率化を支援するITソリューション分野、バイタルセンシング分野などで構成されています。



カセット型デジタルX線  
撮影装置 AeroDR PREMIUM



超音波画像診断装置  
SONIMAGE HS1



経営支援サービス  
infomity



指先測定型  
パルスオキシメーター

#### ● 産業用材料・機器事業

産業用光学システム/機能材料

液晶ディスプレイに使用されているTACフィルムや一眼レフ交換レンズなどに加え、さらに産業用計測機器や成長分野である有機EL照明などで構成されています。



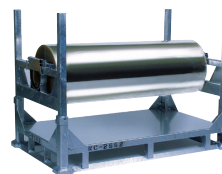
プロジェクター用  
光学ユニット



分光測色計  
CM-25cG



有機EL照明

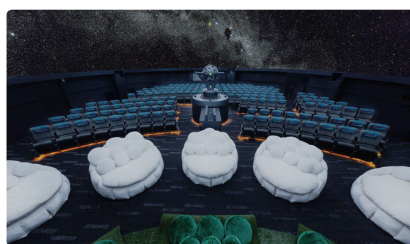


液晶偏光板用  
TACフィルム

#### ● その他事業

プラネタリウム事業などで構成されています。

「2017年度グッドデザイン賞」受賞  
コニカミノルタプラネタリウム「満天」  
光学式プラネタリウム Infinium Σ



コニカミノルタプラネタリウム「満天」など、  
直営館や指定管理館の運営



光学式プラネタリウム  
Infinium Σ



デジタルプラネタリウム  
Mediaglobe Σ

## 2. イメージング領域の事業を支えるコア技術

コニカミノルタでは、得意技術、商品競争力・商品の魅力の源泉としてきた技術をコア技術と定義している。これらは、材料分野で4つ、光学分野で2つ、微細加工分野で2つ、画像分野で4つの計12の技術からなっている。



これらのコア技術は、コニカミノルタの主力製品に以下のように活用されている。

コア技術		情報機器事業		ヘルスケア事業	産業用材料・機器事業			
		MFP/PP	IJ		TACフィルム	新機能性フィルム(有機EL照明)	光学部品	計測機器
材料分野	機能性有機材料合成技術	●				●		
	機能性有機材料設計技術	●	●		●	●		
	機能性微粒子形成技術	●		●				
	製膜・コーティング技術		●	●	●	●	●	
光学分野	光学設計技術	●		●		●	●	●
	光計測技術			●				●
微細加工分野	(精密)成型技術						●	
	表面加工技術		●			●	●	
画像分野	画像処理技術	●	●	●				●
	(作像)プロセス技術	●	●	●				
	搬送技術	●	●	●		●		
	精密駆動技術	●	●				●	

※ PP:プロダクションプリント IJ:インクジェット

これらのコア技術の派生・融合から生み出された、製品のキーとなる技術開発について、下記に掲載している。

<http://www.konicaminolta.jp/about/research/>